

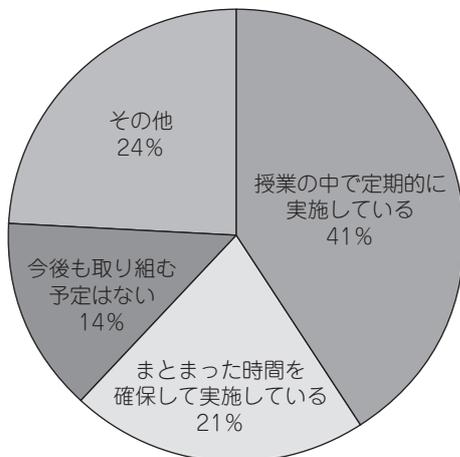
アンケート結果に見る環境学習のすすめ

最近では、「地球を救う〇〇の方法」といった類^{たぐい}の方法論が、世間をにぎわせています。その一方では、「がんばってエコドライブに気を配っても、電気をこまめに消しても、世の中は一向に変わったようには見えないし、あれもこれも考えていると疲れてしまう。」といった声も聞かれます。加えて、「環境問題は『～するな』といった規制事項と『ゴミは分別しろ』といったしつけ教育的な強制事項が多くて……窮屈^{きゅうくつ}な話ばかり。」という声を耳にするのも事実です。

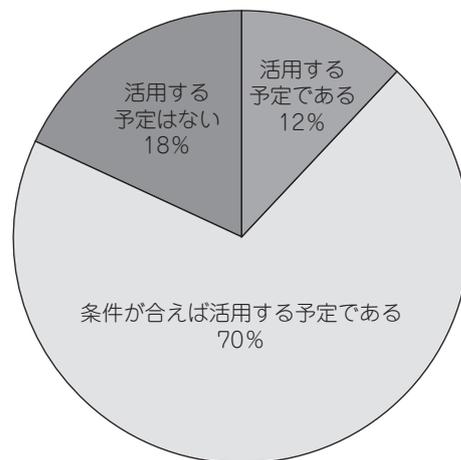
私たち温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐちの会員一同は、こうした声にお応え^{こた}するため、環境問題の本質に迫る“むずかしい話”や“説教くさい話”のみにこだわることなく、バランスの取れた環境学習メニューをつくることにし、まずは小・中・高等学校及び幼稚園を対象にしたアンケートを実施しました。

アンケートでは、「授業の中で」及び「まとまった時間を確保」して環境学習を実施している積極的な回答は62%にとどまっています。一方、今後の外部講師の活用意向については、82%が肯定的にとらえていることも分かりました。

①環境学習の実施状況



②外部講師の今後の活用意向



私たちは、この声を出発点に、環境学習メニューを提供します。そして、この講座案内を手にされた皆さまにお伝えしたいことがあります。

知識によって繰り広げられる認識は、限りがあります

しかし意識によってその認識は何倍にもすることができます

温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち会員一同